

国際ソロプチミストは(私たちは)、管理職、専門職に就いている女性の世界的組織で、人権と女性の地位を高める奉仕活動をしています。世界125の国と地域に3,000以上のクラブがあり、約9万人の会員が女性のために変化をもたらす奉仕活動を行っています。



SOROPTIMIST

Best for Women

*ロゴマークは女性と女児をサポートする団体のイメージを表しています。

■発行
2009年12月
■発行所
国際ソロプチミスト 沖縄
〒900-0015
那覇市久茂地2-10-20-301号
■発行責任者
石川美智子

新会長挨拶 地域社会と共に 「成長するソロプチミスト」



国際ソロプチミスト沖縄 会長 石川美智子



- ①トレジャー 新垣恵美子
- ②会長エレクト 赤嶺 静子
- ③会長 石川美智子
- ④コレスポンディング
シークレタリー 渡名喜よし子
- ⑤レコーディング
シークレタリー 喜舎場直子

「短い人生、自分のためだけに生きるのはおしい。人のために奉仕が出来る事、ソロプチミストに入会して、そのことが一番うれしい」これは、SOLT 研修に於いて「SI 沖縄に入会してよかったと思った事」の問いに対する会員の声です。マナーリズムに陥っている3回目の会長就任、気を引き締めて、目下会長職に奮闘中…?

沖縄クラブは、デートDV、人身売買防止の啓発活動に取り組み、社会に向けて警鐘しており、また新たに11月から薬物の問題に目を向け取り組んでいます。地域のニーズ、地域の問題に積極的に関することで私達ソロプチミストは大きく成長してきました。34年目を迎えるクラブとして、ボランティアとして「地域社会の必要とするものを深く研究する」この教えを忘れずに、真摯なる友情に支えていただきながら謙虚な姿勢を常に持ち続け会員と共に頑張っていきたいと思っております。

ソロプチミスト日本財団 京都大会



城間 緑 会員



創立30周年記念ソロプチミスト日本財団大会が11月17日「京都みやこめっせ」で開催されました。全国各クラブから3,870名の会員が集い、記念大会にふさわしい 能(金剛流)「羽衣」で幕が開き、開会式に引きつづき、財団賞の贈呈式に移りました。ステージ一杯に選ばれた受賞者の方々の活動内容を伺いながら、地域で地道に活動されている方々を掘り起こして顕賞する財団の事業に大拍手をおくりました。「生命を考える」と題して記念講演も拝聴し、京都ならではの技芸連の「手打廓の賑」を満喫して閉会になりました。

今回は前日に嵯峨野の寂庵を訪ねすることも出来、せっかくの京都大会、京都、奈良を旅するというスケジュールも可能となり、幸いな事に法隆寺を訪ね「夢殿」で、年2回限りの「秘佛開扉」のチャンスにも恵まれたことは、とても幸いなことでした。参加者、皆、それぞれの想いを深く、財団賞の意義を胸に焼きつけた事と思います。

次は是非、沖縄クラブより賞にふさわしい方々を選考し、受賞にむすびつきたいと思っております。

奉仕プログラム委員 城間 緑

SOLT
一泊研修

ホテルコスタピスタ沖縄に於いて、9月に開催されました。例会卓話「EMとは？」講師瀬古和彦氏。参加会員24名で会則改正の報告や名城郁子会員による前年度研修アンケート結果の検証報告が行われました。

1. SI沖縄に入会して良かったですか？

●会員の素晴らしい知識や経験が私の人生の中ですごく良い経験になる。●ひとり一人がこんなにパワフルだということを教えていただいた。●20年在籍したがソロプチミスト誓約の通りになりつつある。自分を磨き続ける会と思感謝している。●良い出会いがあり、良い仲間に出会った。心豊かな友の中で過ごすことができ感謝。●ベンチャーとの交流で若さと元気溢れるパワーに刺激され「最高の仲間の友」を得た。●素晴らしい先輩の皆さんに出会った。良い体験談を聞き、自分自身を高める経験ができた。



2. ボランティア活動について

●短い人生、自分のためだけに生きるのには惜しい、人のために奉仕ができる事、入会してそのことを知ったのが一番嬉しい。●ボランティアの喜びをたくさん知った。●SI沖縄はボランティア活動の拠点になっている。

3. 改善できること

●活動を活発にするには各人の役割分担が必要、会員として育つ要素はその内にある●若い方へのバトンタッチをきちんとする、会員の様々な事情、状況に配慮し柔軟な対応は不可欠。●活動する人が片寄らないように、全員参加を考えること●例会だけでなく、委員会の集まりを月1回でもやってほしい。●新入会員を暖かく育てること。●事務局員もでき言うことなし。●最近笑いが増えてとても楽しい。



以上要約しましたが、アンケートに対して皆さん率直に答えてくれました。また夜の懇親会は恒例のオークションで盛り上がり、楽しく過ごすことができました。来年は百パーセントの参加を期待します。

今年はSI沖縄にとって輝かしい年になりました。日頃会員の敬愛してやまない先輩方の功績をたたえる受賞ラッシュが続きました。発展に貢献した皆さんを紹介します。

沖縄県 功労賞



花城 貞江会員



大城 光代会員

花城会員は永年にわたり茶の道・学・実を深め、茶道裏千家淡交会沖縄支部の創設に参画、沖縄県における茶道文化の礎を築き、後継者の育成に尽力された功績を讃えられました。また花城会員は国際ソロプチミスト沖縄クラブの創立メンバーの一人でもあり、後輩会員からたいへん慕われています。

ています。

また大城会員は沖縄初の女性法曹として、那覇地方裁判所長等を歴任され、女性の活躍の道を開くと共に、定年後は沖縄県男女共同参画審議会々長を務めたほか、犯罪や非行をした人々の改善更生支援に取り組み、平成21年11月には、更生保護施設「がじゅまる沖縄センター」開設にこぎつけ、理事長として沖縄県の人権意識の向上に努め、またDV根絶活動など多大な貢献が讃えられました。

去る9月には社会教育功労の功績で栄えある琉球新報賞も受賞されて二重の喜びです。



玉城 節子会員

**琉球舞踊
国指定重要無形
文化財に認定**

琉球舞踊が国指定重要無形文化財として去る9月正式に認定されました。琉球舞踊保存会会長として玉城節子会員が名誉ある認定証を受け取られました。

玉城会員は5才から琉舞を始め以来60年余り、現在玉城流翔節家元として琉球舞踊の第一線で活躍中です。なお玉城会員は重要無形文化財「舞踊」保持者認定者でもあり、沖縄県の至宝ともいえる存在です。

※写真：琉球新報生活マガジン「うない11・12月号」より



又吉 博子会員

**法務大臣感謝状
贈られる**

那覇更生保護女性会のリーダーの一人として、また昭和50年頃沖縄女子学園（沖縄市）にて生け花指導等非行少年(少女)たちの更生保護に尽力された又吉博子会員へ、その活動を讃え、このほど法務大臣より感謝状が贈られました。

ソロプチミスト人身売買防止キャンペーン

～チラシ配布と赤い羽根募金活動～

～あなたの夢をあきらめないで～、10月17日国際通り、三越前にて、来る12月の「奴隷制度廃止国際デー」や来年1月の「人身売買啓発デー」のキャンペーンチラシを配布しました。人身売買はどこの国でも起こっている犯罪であり、最大の被害者は女性と女児であることを訴え、併せて恒例の赤い羽根募金活動も行いました。



ソロプチミスト日本財団参加あれこれ



寂聴さんと共に



紅葉を背に



金閣寺にて



東大寺を訪ねて

国際ソロプチミスト沖縄認証記念日

～併せて奨学金等贈呈式～



認証記念日のケーキにローソクをたてて

10月25日国際ソロプチミスト沖縄の34回目の認証記念日のお祝いが行われました。その席上奨学金を個人の部は沖縄キリスト教学院大学の稲福羽衣華さんと沖縄キリスト教短期大学の安谷屋佑里さんのお2人へ、団体の部は高校生ボランティアグループ「Love and Peace」(宮城愛美代表)へ、感謝状・沖縄クラブ賞(環境貢献賞に推薦)を奥平智子さんと(社会ボランティア賞に推薦)の上原汐璃さんのお2人へ贈呈しその活動を讃えました。助成金は沖縄キリスト教学院大学・短期大学シグマソサエティへ、また活動報告が沖縄ベンチャークラブ、沖縄キリスト教学院大学・短期大学シグマソサエティ、沖縄尚学高等学校Sクラブの皆さんよりなされ、若い人達の意欲的な活動の一端を見ることができました。與儀弘子那覇市副市長をはじめ来賓の方々のご挨拶等もあり、また名城政次郎沖縄尚学高等学校理事長・校長の乾杯のご発声に始まる懇親会では、渡名喜よし子会員の20年継続在籍を讃えた記念品贈呈や、喜舎場直子会員によるあでやかな琉球舞踊、さらに沖縄ベンチャークラブから34本のローソクのついた特大のバースデーケーキのプレゼントなどなど、多くの来賓の方々やSI球陽の皆さんも交え和気あいあいの会となりました。



沖縄キリスト教学院大学・短期大学 学長スラッシャー氏と奨学生

DV被害者自立支援のための樫の木基金収支報告書

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

収入	支出
平成20年度後期より繰越金	支援 9件 680,000円
基金 1,000,000円	手数料 1件 105円
運用資金 1,947,025円	合計 680,105円
今期募金 284,189円	
返済金 535,000円	※21年2号の方は完済されました。
銀行利息 459円	
合計 3,766,673円	

平成21年度後期への繰越金 3,086,568円

募金にご協力くださった方々に感謝申し上げます。

樫の木基金委員会委員長 大城 光代

